



平成 29 年 4 月 3 日

各 位

会 社 名 アイカ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 勇治
(コード番号: 4206 東証・名証各第 1 部)
問合せ先 常務取締役経営企画部担当 百々 聡
(TEL : 052-409-7705)

新中期経営計画「C&C 2000」の策定について

当社は、本日開催された取締役会において、2020 年度(2021 年 3 月期)を最終年度とする 4 ヶ年の新中期経営計画「C&C 2000」を決議いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 策定の趣旨

アイカグループは、「挑戦と創造(Challenge & Creation=C&C)」を社是とし、共生の理念のもと、たえざる革新により新しい価値を創造し、社会に貢献していくことを経営理念に掲げています。

2013 年 4 月にスタートし、創立 80 周年を迎えた 2017 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT JUMP 1500」は、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社を中心とした海外展開や、グローバル視点での最適生産・最適調達体制の確立、非住宅市場や非建設分野への取組み強化の観点から行った M&A 等が業績に寄与し、概ね達成する見込みです。

そこで、創立 90 周年(2027 年 3 月期)に目指すべき姿「アイカ 10 年ビジョン」を描き、その実現へのロードマップの最初の 4 年間に達成すべき財務目標と基本方針を、新中期経営計画「C&C 2000」として策定しました。

本計画では、人口減少・少子化・高齢化に伴う住宅需要の変化や、インフラや建物の老朽化、環境意識の更なる高まり、2019 年 10 月に再延期された消費増税前駆け込み需要とその反動減、IoT・AI 等の技術革新など、事業環境が大きく変化すると捉え、当グループの強みである「化学」と「デザイン」の力を活用し、豊かな社会の実現に貢献する独創性のある商品をつくり出すことで持続的に成長し、より一層の企業価値向上に努めてまいります。

2. 10年ビジョンの概要

当グループは「化成品」と「建装建材」という2つの事業を柱に成長していきます。化成品は、人々の暮らしや社会インフラを支える建設分野向け樹脂でアジアトップメーカーとしての地位を目指しつつ、自動車・日用品・電子材料など非建設分野で成長していきます。建装建材は、これまでの家具・什器・水廻りの内壁市場向け主体から外壁も含めた壁面市場等の建材未開拓分野に事業領域を拡大し、住宅・非住宅を含めた生活空間全体に快適・安全を提供できる空間デザインメーカーとして成長を続けていきます。そしてこの2つの主力事業が相互に触発し連携し、社会に役立つ独創的な商品を生み出しながら発展していく企業グループを目指します。

3. 新中期経営計画「C&C 2000」の概要

10年ビジョンの第1ステップとして、2020年度を最終年度とする4ヵ年(2017年4月～2021年3月)の新中期経営計画「C&C 2000」を、以下の通り策定しました。

(1)財務目標

連結売上高	: 2,000億円	ROE	: 10%以上
連結経常利益	: 220億円	海外売上比率	: 35%以上

(2)基本方針

①3つの成長ドライブの追及と実現

- a)AS商品^{※1}群の拡充による国内基幹事業の成長持続
- b)次世代を担う注力分野の育成・投資(非建設向け分野、建材未開拓分野)
- c)ジャパンテクノロジーの海外展開

②成長を支える経営基盤強化

- a)C&C活動^{※2}を通じた一人ひとりの成長
- b)QEOマネジメント^{※3}とIT基盤刷新によるCS・ES^{※4}向上
- c)コンプライアンスの遵守

※1 AS商品 : AICA Solution 商品の略。様々な社会課題(インフラ老朽化・高齢化・環境・安全・人手不足など)を解決する商品

※2 C&C活動 : Challenge & Creation 活動の略。挑戦と創造の精神のもと、製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小集団活動。70年頃から行っている

※3 QEOマネジメント : 品質(Quality)・環境(Environment)・労働安全衛生(Occupation health and safety)、三位一体のマネジメントシステム

※4 CS・ES : CSは顧客満足度、ESは従業員満足度を指す

(3)投資計画

持続的な成長を実現する為に、既存事業の拡大・維持投資に加え M&A 等による新たな事業投資も積極的に進めます。設備投資・事業投資を合わせて、4年間で400億円を目処に投資を行います。新規事業の M&A については、海外の化成品・化粧板事業、海外の機能材料事業、国内の補修補強事業、国内の壁面材事業などを中心に、技術・販路・生産力を拡大するシナジーを追究してまいります。

(4)配当方針

当社は、株主の皆さまへの利益還元と会社の持続的な成長を実現するため、各期の連結業績、配当性向および内部留保を総合的に勘案したうえで配当を行ってまいります。本中期経営計画においては連結配当性向を、従来の「30%以上」から、より利益還元に重点を置いた「50%を目処」に変更し、2018年3月期より実施いたします。

内部留保資金の用途については、既存コア事業拡大の為に設備投資や、M&A 等将来の企業価値を高めるための投資に優先的に活用する等、長期的な視点で投資効率を考え行っていく予定です。

詳細等については、別紙中期経営計画概要をご参照ください。

以上

中期経営計画概要

(2018年3月期～2021年3月期)

挑戦と創造

2017年4月3日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

NEXT JUMP 1500

【基本方針】

- 改修・リフォーム・医療介護などの成長分野への取組強化
- 海外事業・機能材料事業の展開加速を通じて事業構造の改革
- 生産・調達のグローバル最適化と原価低減の推進
- 事業環境の変化とグローバル化に即した組織運営と人材強化

【財務目標】

※第3四半期決算発表時点の予想値です

項目	13/3期 (実績)	17/3期 (当初計画)	17/3期 (予想)
売上高	1,013億円	1,500億円	1,520億円
経常利益	126億円	170億円	180億円
ROE	9.7%	9.5%	9.5%
海外売上比率	7.2%	30%以上	30%

おかげ様で、輝かしい80周年を迎えることができました

2. アイカ10年ビジョンと新中期経営計画

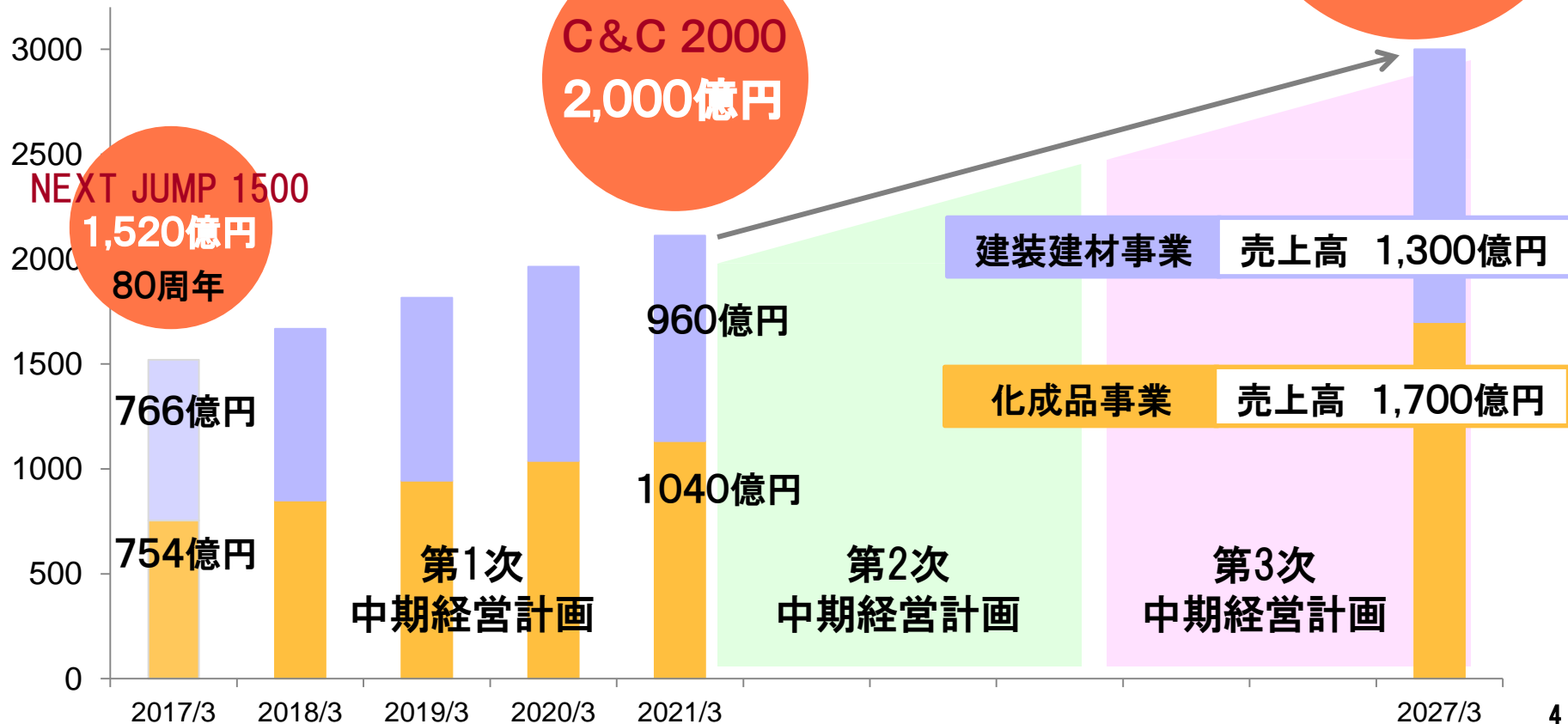
90周年を迎える2027年3月期に、売上3000億円を目指します
 その中の第1次中期4カ年計画として、売上2000億円を目指します

※2017/3期の数値は第3四半期決算発表時点の予想値です

アイカ10年ビジョン
3,000億円
 90周年

連結売上高

[億円]



3. アイカ10年ビジョン(2018/3期-2027/3期)

10年後の財務目標	2017年3月期	→	2027年3月期
連結売上高	1,520億円	→	3,000億円
経常利益	180億円	→	300億円
ROE	9.5%	→	10%以上
海外売上比率	30%	→	45%以上

※2017年3月期の業績は、第3四半期決算発表時点の予想値です

10年後のあるべき姿

化成品事業 売上高 1,700億円 化成品事業は、人々の暮らしや社会インフラを支える建設分野向け樹脂で「アジアトップメーカー」を目指しつつ、自動車、日用品、電子材料など非建設分野で成長していきます。	建装建材事業 売上高 1,300億円 建装建材事業は、外壁を含めた壁市場全体に事業領域を拡大し、住宅・非住宅の生活空間に快適・安全を提供できる「空間デザインメーカー」として成長を続けていきます。
【事業連携】 化成品事業と建装建材事業が相互に触発・連携し、社会に役立つ独創的な商品を生み出していく企業グループを目指します。	
【資本提携やM&Aの活用】 資本提携やM&Aも含め積極的に自己資金を投入していきます。	

【グループ連携・事業基盤の強化】	生産・物流体制最適化	技術・素材連携	研究開発投資
	コンプライアンス	QEOマネジメント	健全な財務基盤
【ITインフラ整備】			
	ITインフラ整備		
【人材育成】	グローバル人材	ダイバーシティ	プロフェッショナル人材
【ステークホルダーへの責任】	企業価値の増大	コーポレートガバナンスの強化	地域社会との共生
	CS・ESの向上		

4. 新中期経営計画 C&C 2000 (2018/3期-2021/3期) AICA

【基本方針】

1. 3つの成長ドライブの追及と実現

- AS商品群※1の拡充による
国内基幹事業の成長持続
- 次世代を担う注力分野の育成・投資
(非建設向け分野、建材未開拓分野)
- ジャパンテクノロジーの海外展開

2. 成長を支える経営基盤強化

- C&C活動※2を通じた一人ひとりの成長
- QEOマネジメント※3とIT基盤刷新による
CS・ESの向上
- コンプライアンスの遵守

※1 AS商品 AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品
 ※2 C&C活動 挑戦と創造の精神のもと、製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小集団活動。70年頃から行っている
 ※3 QEOマネジメント 品質(Quality)・環境(Environment)・労働安全衛生(Occupation health and safety)、三位一体のマネジメントシステム
 ※4 CS・ES CSは顧客満足度、ESは従業員満足度を指す

【財務目標】

※第3四半期決算発表時点の予想値です

項目	17/3期(予想)
売上高	1,520億円
経常利益	180億円
ROE	9.5%
海外売上比率	30%



項目	21/3期(計画)
売上高	2,000億円
経常利益	220億円
ROE	10%以上
海外売上比率	35%以上